

2173再構築 29

フロット

「優しい人」

エリー

プロット「優しい人」

あるところに、優しくて、よいところは褒めるが、悪いところを指摘しないA男がいた。

褒められることが好きで、喜ばれると同じことを繰り返す、B子がいた。

A男とB子は、互いにひかれあい、結婚した。

A男は、B子に、「君のカレーライスは本当に美味しいね」と褒めた。

するとB子は、カレーライスばかり毎日出した。

A男は、他のものも食べたいと思ったが、ニコニコカレーライスを食べ続けた。

ある日、町内のみんなが集まって、料理を作ることになった。

いろいろなアイデアが出たが、焼きそばに落ち着いた。

B子は焼きそばを作ったことがなかった。

何をしたらいいのか分からず、オロオロした。

家に帰って、落ち込んだB子は、自分はなんてダメなやつだろうと泣いた。

帰ってきたA男は、B子話を聞くと、「反省できる君は素晴らしい」といいところを探して褒めた。

B子「なんでカレーしか作れないなんてダメなやつだって言わないの？　なんで褒めたりするのよ！」

それでもA男は怒らず、よいところを探した。

A男「君のカレーライスは本当に美味しいし、カレーは作れるのだからもっとできることに自信を持ったらいいと僕は思う」

B子「大っ嫌い！」

B子は家を出て行った。

一人に戻ったB子は、C男と出会った。

C男は酷いやつだった。

何でも自分の思い通りに命令して、B子ができないと怒り狂って暴力をふるった。

しかしB子は、ダメなわたしが悪いのだからと抵抗せず、必死に暴力に耐えた。

ある日、C男がB子に言った。

C男「お前みたいなブスでグズな女はいらない」

C男はB子を捨てた。

そのころA男は悩んでいた。

A男は今でもB子を愛していた。できることなら戻ってきて欲しかった。

B子を傷つけることは言いたくない。

しかし、ただ褒めるだけでは、逆にB子を傷つけてしまう。

なんと云えばいいのだろう。

答えはでなかったが、ともかくもう一度会いたいと、A男はB子を探した。

B子は何もかも嫌になって、死にたいと思った。

死に場所を求めてトボトボ歩いていると、B子の前にA男が現れた。

B子「何しに来たのよ。あなたなんて大っ嫌い！」

A男「君には素晴らしいところがたくさんある。しかし、一つのことにとこだわって、周りが見えないところは良くないところだと思う。そこに気をつけたら、もっと良くなるんじゃないかな？」

」

B子「そうよ。わたしは同じことしかできないバカでダメなやつなのよ」

A男「いいや君は変わることができる。もっと自信を持って」

B子「無理よ。無理なのよ。わたしのことはもう放っておいて！」

A男「甘えるな！ やる前からあきらめるな！」

B子「あなたに何が分かるのよ。それしか思いつかないから、一生懸命同じことを繰り返すしかないのに、それじゃダメだって言われて、どうしたらいいのよ!？」

A男「僕と一緒に考える。君は一人じゃない。僕がついている」

B子「こんなわたしでいいの？」

A男「久しぶりに君のカレーライスが食べたいな」

B子「うん」

カレーライスを仲良く食べるA男とB子。

A男「明日は別のものが食べたいな。たとえばチャーハンとか」

B子「作ったことないから失敗しちゃうかも」

A男「それでもいいよ。楽しみにしている」

B子「うん、やってみる」

あとがき「元ネタ」

プロット「優しい人」は、ツイッターで流れてきた

「メンヘラはなぜひどい男になつき、愛してくれる人を試すのか？」

と

「ゆとり世代は、褒められると頑張るというメンタルなんだと思います」
を合わせて作った話です。

褒められて、「これはできたから、次はアレをやってみよう」と挑戦していく人は褒め続けるだけでいいが、「同じことを繰り返し始めたらダメと言うしかないのではないか？」という疑問がこのプロットを考えたきっかけです。

褒め続けるA男というキャラクターが決まりました。

ダメだと思っている時に、褒められると苦しいから、ひどい男になつてしまうのではないかと、という想像からB子とC男というキャラクターが決まりました。

「ダメだしすることも優しさだ」が主張です。

もし、「変わるまで待つことも大切だ」と言いたいなら、別の話にする必要があるのだと思う。

「ダメだしすることも大切だし、変わるまで待つことも大切だ」と言いたいなら、ダメだしすることが普通になって、今度は「ダメ出ししすぎてB子とケンカになるA」みたいな話にできるかもしれないが、そしたら「優しい人」というタイトルから外れるような気がする。

二つを主張することはできるのか、できないのか、分からない。

できるとしても、「一つの主張でまとめること」さえできていないのだから、一つの主張でプロットを書く練習を続けようと思います。